

## 食料・農業・農村基本計画（抜粋）

## 2 望ましい食料消費の姿

## ( 1 ) 食料消費に関する課題

我が国の食料消費は、所得水準の向上等に伴う国民の食生活の多様化及び高度化により、米の消費が減少し、畜産物や油脂の消費が増加するなど大きく変化してきたが、このことが、人口に比べ国土が狭あいで平坦でなく、耕作適地が少ないといった不利な条件を有する我が国において、国内生産がそれに十分対応し得なかったこともあって、食料自給率の低下の大きな要因となってきた。

こうした中で、近年、我が国の食料消費については、米を中心に地域産品も含めた多様な食品をバランス良く摂取する食生活が変化しており、脂質の摂取過多等の栄養バランスの崩れによる国民の健康への影響が懸念されている。また、食品の流通・消費段階においてかなりの廃棄や食べ残しが生じ、食料資源が無駄になるとともに、環境への影響が指摘されており、こうした問題に対する国民の関心も高まっている。

このため、健康で充実し、活動的な長寿社会の実現を目指し、脂質の摂取過多の改善等適正な栄養バランスの実現を図るとともに、食料資源の有効利用、環境への負荷の低減といった観点から、食品の廃棄や食べ残しを減少させることが、食料消費に関する重要な課題となっている。

食料消費については、消費者、食品産業の事業者その他の関係者がこれらの課題についての理解を深め、食生活の見直し等に積極的に取り組む必要がある。

## ( 2 ) 望ましい食料消費の姿

近年の食料消費のすう勢によれば、食料消費が量的にはほぼ飽和水準に達している一方、質的には多様化する傾向が続く中で、米の消費の緩やかな減少と畜産物及び油脂の消費の増加等の傾向が続き、脂質の摂取過多等の栄養バランスの崩れ、かなりの食品の廃棄や食べ残しの発生といった状況が継続するものとみられる。

しかしながら、食料自給率の目標における食料消費については、食料自給率の目標が食料消費の指針としての性格を有することを踏まえれば、単にこれまでの動向が継続した場合のすう勢によるのではなく、消費者その他の関係者が食生活の見直し等に積極的に取り組むことを前提として定める必要がある。

このため、平成22年度における食料消費については、次のように、望ましい栄

養バランスが実現するとともに、食品の廃棄や食べ残しが減少することを前提とする望ましい食料消費の姿を示すこととする。

ア 栄養バランスについては、摂取ベースでの脂質熱量割合を国民の健康の観点から適切な水準であるとされる25%にするという目標に対応して、供給ベースの脂質熱量割合が現状の29%から27%程度に低下すると見込む。

イ 品目としては、脂質を多く含む品目の消費が減少する一方、米を中心とする穀類の消費が堅調に推移し、糖質（炭水化物）の消費が増加すると見込むとともに、カルシウム等微量栄養素及び食物繊維の摂取の増加の必要性から野菜、豆類及びいも類の消費が増加すると見込む。

ウ 食品の廃棄や食べ残しを減少させることについて、国民の理解と関心が高まる中で、ダイオキシン対策関係閣僚会議（平成11年9月28日）で決定された廃棄物の減量化の目標量等を勘案して、近年の供給熱量と摂取熱量の差の約1割が減少し、供給熱量が2,540kcal程度になると見込む。

以上を前提とした平成22年度における主要品目別の食料消費の姿は、第1表のとおりである。

(第1表)平成22年度における望ましい食料消費の姿

(単位:万トン、kg)

|              | 平成9年度                  | (参考)平成10年度             | 平成22年度               |
|--------------|------------------------|------------------------|----------------------|
| 米            | 1,011                  | 991                    | 1,008                |
| うち主食用        | 909<br>(66.7)          | 897<br>(65.2)          | 906<br>(66)          |
| 小麦           | 629<br>(32.4)          | 622<br>(32.2)          | 652<br>(33)          |
| 大麦・はだか麦      | 271<br>(0.3)           | 269<br>(0.3)           | 258<br>(0.3)         |
| 甘しょ          | 114<br>(4.8)           | 114<br>(4.6)           | 120<br>(5.4)         |
| 馬鈴しょ         | 409<br>(16.5)          | 383<br>(16.8)          | 416<br>(19)          |
| 大豆           | 504                    | 487                    | 511                  |
| うち食用         | 102<br>(6.6)           | 102<br>(6.6)           | 119<br>(7.9)         |
| 野菜           | 1,669<br>(101.6)       | 1,628<br>(99.0)        | 1,725<br>(108)       |
| 果実(計)        | 869<br>(40.6)          | 807<br>(37.6)          | 842<br>(39)          |
| みかん          | 139<br>(6.7)           | 122<br>(5.8)           | 124<br>(5.9)         |
| りんご          | 150<br>(9.1)           | 134<br>(8.1)           | 145<br>(8.7)         |
| その他の果実       | 579<br>(24.8)          | 551<br>(23.7)          | 572<br>(25)          |
| 牛乳・乳製品       | 1,210<br>(93.2)        | 1,202<br>(92.3)        | 1,318<br>(100)       |
| うち 飲用<br>乳製品 | (40.2)<br>(52.8)       | (39.3)<br>(52.8)       | (41)<br>(59)         |
| 肉類(計)        | 547<br>(27.8)          | 552<br>(28.0)          | 534<br>(27)          |
| 牛肉           | 147<br>(7.2)           | 150<br>(7.3)           | 166<br>(8.0)         |
| 豚肉           | 208<br>(10.2)          | 213<br>(10.4)          | 186<br>(9.0)         |
| 鶏肉           | 182<br>(10.1)          | 180<br>(9.9)           | 172<br>(9.4)         |
| 鶏卵           | 268<br>(17.6)          | 264<br>(17.3)          | 252<br>(16)          |
| 砂糖           | 266<br><236><br>(20.6) | 258<br><230><br>(20.0) | 255<br><250><br>(20) |
| 油脂           | 286<br>(14.9)          | 279<br>(14.6)          | 281<br>(14)          |
| 茶            | 10<br>(0.8)            | 8.8<br>(0.7)           | 9.7<br>(0.8)         |
| 魚介類          | 1,136                  | 1,075                  | 1,104                |
| うち食用         | 838<br>(35.8)          | 814<br>(33.8)          | 814<br>(35)          |
| 海藻類          | 21<br>(1.4)            | 20<br>(1.4)            | 20<br>(1.3)          |
| きのこ類         | 48<br>(2.9)            | 50<br>(3.0)            | 53<br>(3.1)          |

(注) 1 上段は1年当たりの国内消費仕向量(万トン)、下段の( )内は1人1年当たりの供給純食料(kg)である。

2 平成10年度の数値については、一部未確定のものが含まれるため、参考として掲げるものである(以下同じ。)

3 砂糖の< >内は、加糖調製品等に含まれる砂糖を除いた数量である。

(参考)平成22年度における総供給熱量とPFC熱量比(1人1日当たり供給量)

|             | 平成9年度 | (参考)平成10年度 | 平成22年度 |
|-------------|-------|------------|--------|
| 総供給熱量(kcal) | 2,619 | 2,570      | 2,540  |
| PFC熱量比(%)   |       |            |        |
| P(たん白質)     | 13.3  | 13.4       | 13     |
| F(脂質)       | 28.8  | 28.8       | 27     |
| C(糖質(炭水化物)) | 57.9  | 57.8       | 60     |

(注)第1表の望ましい消費の姿に対応したものである。